

会議録

| | |
|---------|--|
| 会議の名称 | 男女平等推進センター企画運営委員会 平成30年度第4回 (H30.6.7～H32.6.6) |
| 開催日時 | 平成30年9月14日(金曜日) 午後7時から午後9時まで |
| 開催場所 | 田無庁舎 502会議室 |
| 出席者 | 委員：青木委員、秦委員、横山委員、吉田委員、田崎委員 事務局：福田係長、樋口主査 編集委託：富山 |
| 議題 | 2 第3回会議録の承認 3 情報誌パリテについて 4 男女平等推進センター企画運営事業について 5 その他(次回開催日程等) |
| 会議資料の名称 | 資料 ① 第3回会議録 ② 男女平等推進センター事業企画書 |
| 記録方法 | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録 |

会議内容

○会議内容

《開会》これより第4回企画運営委員会を開催します。

1 第3回会議録の承認

委員長：第3回会議録について、何か意見はあるか。
意見がないようなので、第3回会議録を承認とする。

2 情報誌パリテについて

編集者：情報誌パリテ21号の初校について確認して意見がほしい。

事務局：ライブラリーの「お互い40代婚」の冒頭に「内容は」となっているが必要ないのではないか。

委員：異議なし

事務局：登録団体は現在依頼中。原稿ができ次第送付する。

委員：P4、P5にもイラスト等入ったほうがよい。

編集者：現在下段については専門家に原稿依頼中なので、内容にもよるが、上段を数行広くするように検討したい。

委員長：表紙より順に他の意見を出していただきたい。

編集者：表紙について、イラストは後日となるが、P2、P3に使用のイラストのいくつかを考えている。

他にイラストの希望があれば出してほしい。

委員長：イラストはいくつか候補をあげてもらい、その中から決めたほうがよい。

表紙の字体が他のものがよい。

編集者：イラストができた後で字体は決定するので、そこで検討するのはいかがか。

委員：承知した。

委員：P2, 3の事例の内容について、セクハラの実害者が女性というというイラストとなっていて、実際は男性の実害者もいる。イラストの女性と男性を入れ替えることは可能か。例えば男性に重い荷物を運べとしているイラストなど。

編集者：重い荷物を運ぶように言うことがセクハラということにはならないのではないかと。男女の筋力差もある。

事務局：セクハラの実害者が男性もあるが、実害者の多くは女性であるため代表的な事例としては女性が実害者としたほうが良いのではないかと。

委員：女性から男性へのセクハラがあることを知らせたい。イラストの中の性別が偏らないほうが良い。

委員：文中に性別にかかわらず男性でも女性でも加害者になりうるとなっている。ことで説明とするのはいかがか。

委員：承知した。

委員：「喫緊」は日常使わない言葉ではないか。

編集者：他の言い方で検討する。

委員：事例のイラストが分かりづらいものがある。

委員：注釈を入れるのはいかがか。

編集者：承知した。

委員：P4のグラフだが、年度が和暦だが、他に西暦表記もあるため、このグラフには平成と入れるのはいかがか。

編集者：承知した。

委員：同グラフだが、いじめ、いやがらせの種類が分かるように表記していただきたい。

編集者：相談件数の詳細が見つからず、このグラフとなった。他資料を探してみるが、見つからない場合は表記を変更する。

委員：承知した。

委員：P6 政治分野における男女共同参画推進法について、ジェンダーギャップ指数について触れてほしい。

事務局：同じくP6にイラストを入れることは可能か。

編集者：イラストは入れるようにする。

ジェンダーギャップ指数について記述すると、行数が増えてしまうが、どうするか。文字を小さくすることも検討できる。

事務局：登録団体の記事が数行少なければ、その分数行入るのではないかと。

委員：異議なし。

編集者：編集者：ジェンダーギャップ指数の順位等の記述についても対応したい。

委員：P5の相談先のタイトルが白抜きの文字が見にくい。

編集者：白抜きでなく黒の文字とする。

委員：承知した。

事務局：パリティ事業報告の原稿締切は10月19日となる。

委員：承知した。

編集者：P8 悩みなんでも相談について内容の追加はあるか。

事務局：登録団体募集中を少し縮小して相談を広くしていただきたい。

委員：イベントは何をいれるか。

事務局：11月発行予定なので、1月以降のイベントがよいが、決定しているものが少なく他の予定が再校正までに決定していなければパリテまつりを掲載となる。

委員：承知した。

編集者：表紙のイラスト案が欲しい。

委員：ハラスメントがダメ、ということが表現されるものがよい。

委員：インパクトのあるものがよい。

委員：「それってハラスメントです」吹き出しを入れる。

委員：警告カードを出して「ダメ」とわかるようにする。

編集者：今の意見を元に表紙のイラストを作成する。

編集者：今後の予定としては10月2日までに事務局に再校データを送付するので、時間が少ないが、4日（木）までに委員確認後事務局まで返事が欲しい。

委員：承知した。

3 西東京市男女平等推進センター企画事業について

事務局：前回の決定企画の進捗状況は、。

「女性起業支援講座～小さい子どもがしながら働くということ～」講師はスクタリウともこさん11月2日(金)午前10時～正午。

「NO! ハラスメント」は週間事業の間の11月17日午前10時～正午、講師は弁護士板倉由実さん。

「ゼンタングルアート」は12月1日(土)午前10時～正午、講師は信太百重さん。材料費500円、定員15人。

「一步一步ありがとう、妻田部井淳子と歩んだ日々」は12月6日(木)午後2時～4時、講師は田部井政伸さん。ということになっている。

以上の4つは順次チラシ作成する。委員の皆様には講座の広報、チラシ配布等をお願いすることがあると思うので、ご協力をお願いしたい。

今回は残りの4つの講座について決定したい。

前回の委員会で候補としてあがっていたものは、片づけ講座、CSP講座、防災ということとなる。事務局からリプロとLGBT企画の依頼をしていた。

リプロは未定だが、女性の体に関する講師依頼ができるかもしれないので、LGBTについての講座を依頼したい。

防災に関しては今回各委員より意見があった。意見としては、防災講座を実施するのであれば、男女平等の視点を見落とさないようにしてほしい。女性自衛官を講師とし、被災地で救出活動の際に感じた問題点等入れてほしい。男女平等参画の視点を入れてほしいという複数意見があった。

委員：LGBTの企画を提案したい。

委員：同じ講座は2年に1回ということでもよいのか。

事務局：LGBTはこの数年実施しているが、継続して啓発していきたいので実施したい。リプロについては計画にも実施するとしているが、なかなか講座の実施ができないので講座か情報誌での対応を考えたい。

後半の講座の時期は12月中旬から3月上旬の間でパリテまつりの時期である1月下旬から2月上旬を除いた期間で実施となる。

委員：時期を決定していかなければならない。

事務局：LGBTの企画を説明願いたい。

委員：BSで虹色ダイバーシティを迎える番組をしていた。現在10人に1人がLGBTに属

するというような内容であった。

虹色ダイバーシティから講師を迎え、実施したい。

事務局：この企画はいかがか。よければ日程調整をする。

今出ている企画は、片付け講座、防災、LGBT、CSPの4講座となる。

委員長：時期の希望はあるか。

委員：片付け講座は12月でどうか。

委員：CSP講座は2月後半の実施で考えている。

事務局：市報原稿の兼ね合いで、早いものだと12月中旬実施の講座であれば11月15日号掲載となる。

委員：片付けを12月中旬か3月実施で交渉して、その結果により他の講座の交渉とするのはいかがか。

委員：承知した。

4 その他(次回開催日程等)

事務局：今回は10月19日（金）午後7時からとする。場所は男女平等推進センター活動室とする。

委員：承知した。

委員長：では、本日は散会とする。ありがとうございました。

《閉会》